



ブックオフ主催
アップサイクルデザインコンテスト

Reclothes Cup2023

開催のご案内

なぜブックオフがコンテストを開催するのか

【ブックオフって？】

『本』だけではなく、お洋服やスポーツ用品など様々なものをリユースという形で循環させ、モノの寿命を延ばすことを事業の根幹としている企業です

【なぜブックオフが？】

ブックオフで『本』を取り扱っている認知度は日本中で90%を超えていますが、ブックオフで『服』を取り扱っていることはなかなか知られていません。この取り組みを通して、服が好きな人たちに、ブックオフは『本』以外のモノの取り扱いもしていることを知ってもらい、今まで以上にモノを循環させることに貢献できるようになりたいと考えています。

【コンテストである意味】

ブックオフでは年間1000万着以上の服の取り扱いがあり、その中には役目を終えていく服もたくさんあります。

この服をどうにかできないかと考えていました。

そんな時、ブックオフでアルバイトをしていた服飾専門学校に通う学生を通して、コロナ渦で作品を発表するコンテストやファッションショーがどんどん減っている事を知りました。

熱い思いをもって作品制作に取り組む学生のやり場を増やすことはできないか、応援する方法はないか。

ブックオフの課題解決と学生たちの発表の場を増やす良いチャンスになるのではと考えコンテストの開催を決めました！

ブックオフで役目を終えた服にアップサイクルで新たな付加価値を付け、
人々をわくわくさせたり、感動させられる作品を募集します。

学生の為のチャンス【デザイン部門】

テーマを自由に考え、
自分自身が想うアップサイクルを形にしてください。
個性的でファッションの新しい可能性と未来を感じ
る作品を募集します！

挑戦したい人へのチャンス【販売部門】

テーマを自由に考え、
販売を視野に入れ、コンセプト、ターゲット、再現
性を深く考えてください。
人々から欲しい！使ってみたい！と思われる作品を
募集します！

※一次審査はデザイン画(販売部門はプラスでプレゼン資料)での審査、最終審査はファッションショー形式(デザイン部門のみ)での審査会となります

デザイン部門

参加資格

- ・服飾学科に通う全国の学生(高校生以上)

作品の条件

- ・ブックオフの古着を使用すること
- ・トータルコーディネートで準備をすること

募集する作品

- ・自身が考えるアップサイクルを形にし、なおかつ個性的でファッションの新しい可能性と未来を感じる作品

審査のポイント

- ・デザイン性だけでなく、古着をどのくらい無駄なく使い切ることができるか、古着の使用方法、素材を選んだ理由などが審査のポイントとなります

作品制作の条件【デザイン部門】

①ブックオフの古着を使用すること

使用できる古着は、1,500円未満のメンズ、レディース、キッズの服と1,500円未満の靴、バッグ、小物類(スカーフや帽子など)

②ブックオフの古着以外の素材も使用可

完成した作品を長く着られるものにするために必要な新品の素材は使用可

③縫製されていること、脱着可能である事

ショーでモデルが着用する為、着用できないものはNG

④既存の商品にペイントのみでの提出はNG

ペイントは洗濯しても落ちない物をを使用し、ペイントしたものを縫製していればOK

⑤ブランドロゴ、ロゴマーク、キャラクターの使用は不可

⑥使用した素材はすべて写真に残し提出すること

提出フォーマットはReclothes Cup公式サイトよりDL

⑦作品はトータルコーディネートで準備すること

靴の準備は必須ではありませんが、ショー開催にあたり靴が必要となる為、弊社で靴を準備する場合、希望通りの準備は出来かねます

Reclothes Cup2022 グランプリ作品 (昨年の作品一例です)



使用素材



『つなぐ』

アップサイクルを通して、
『過去のファッションを未来に
繋いでいきたい!』という思いと、
大切なものは自分の手を使って直
接つなぎたいという思いから、
パーツとパーツを自らの手でリボ
ン結びすることで『つなぐ』が完
成するように作られた作品です。
リボンをほどこことで、様々な形
に変えることができます。

Reclothes Cup2022 作品一例 (昨年の作品一例です)

『Memory』

『古着の思い出』を想像し、シルクスクリーンでアルバムが重なっているイメージに。カラフルな色合いで、『思い出』を走馬灯のように思い出していることを表現しています。また、素材にはリサイクルできないナイロンとポリエステルをあえて使用し、環境問題も考慮して制作しました。



『interlace nature』

デニムがいつも売れ残っていたことが気になっていた為、今回のコンテストではそのデニムに焦点を当てて作品を制作。デニムにフリンジなどの加工を施し川をイメージ、鮭と熊を手刺繍。故郷の札幌を表現している作品です。なんといっても迫力のある刺繍が作品最大のポイントです。



『Values』

リメイクする服には、もとのデザイナーが存在する為、100%自分自身を表現することが難しいと考え、あえて自分オリジナルのアートを服に載せることで、自己100%表現しました。

切ったり縫ったりする部分が少なく、無駄を出さずに制作が可能であることも強みです。

使用素材



販売部門

参加資格

- ・ 学生から一般の方まで自由にご参加頂けます ※自分のブランドを始めて3年以上経過している方は不可
- ・ 受賞後、作品制作の企画会議に参加できる方

作品の条件

- ・ ブックオフの古着を使用すること
- ・ 作品の販売企画書の提出が必須（詳細は別ページ参照）

募集する作品

- ・ 販売を視野にいれ、商品のコンセプト、ターゲット、再現性を考えた、人々から欲しい、使ってみたいと思われる作品

審査のポイント

- ・ デザイン性だけではなく、素材に1点物の古着を使っているので、商品化する際に、どう再現性を高めようと考えられて作られているかが審査のポイントになります。

作品制作の条件【販売部門】

①ブックオフの古着を使用すること

使用できる古着は、1,500円未満のメンズ、レディース、キッズの服と1,500円未満の靴、バッグ、小物類(スカーフや帽子など)

②ブックオフの古着以外の素材も使用可

完成した作品を長く着られるものにするために必要な新品の素材は使用可

③縫製されていること、脱着可能である事

受賞時にモデルが着用する為、着用できないものはNG

④既存の商品にペイントのみでの提出はNG

ペイントは洗濯しても落ちない物をを使用し、ペイントしたものを縫製していればOK

⑤ブランドロゴ、ロゴマーク、キャラクターの使用は不可

⑥使用した素材はすべて写真に残し提出すること

提出フォーマットはReclothes Cup公式サイトよりDL

⑦作品は服以外の小物も可

Reclothes Cup2022入賞作品 (昨年の作品一例です)



使用素材



『Re : work 』

デニムは丈夫で耐久性があるので、作業着に向いていると考え素材として選択。

作家さんの作業着にしたいという思いから、様々な大きさのポケットをたくさんの場所に配置し、色々なものがいれられるようにしたことがこの作品のポイントです。



使用素材



『戦争と平和』

リアルクローズを意識し、ミリタリーとヒッピースタイルを掛け合わせたMA1を制作しました。

パッチワークの柄によって表現できる世界が変わるのがこの作品のポイントです。



使用素材



『パッチワーク』

古着特有の汚れ、傷、色落ちなど、すべて個性としてプラスにとらえています。

ベースには暗めの色を選びながらも、柄物や少し明るい色をパッチワークの中に埋め込んでいるところが作品のポイントです。



『ロップイヤーうさぎのぬいぐるみ』

古着で作ったロップイヤーのぬいぐるみ。

端切れはぬいぐるみの綿の代わりに使用し、無駄を出さない作りになっています。

誰にでも縫いやすいようにパーツが少なくなるように作られています。

スケジュール

エントリー開始
2023年4月1日(土)

- Reclothes Cup公式サイトよりエントリー開始
- 公式サイト→<https://reclothes-cup.jp/>
- 登録完了後、指定店舗でコンテストに使用する商品をお選びいただけます

一次審査締切
2023年5月31日(水)

- ①デザイン画 ②エントリーシート（公式サイトよりDL）③販売部門は販売企画書(公式サイトよりDL)の2点(もしくは3点)をReclothes Cup事務局まで郵送にて提出 **※当日消印有効**

一次審査結果発表
2023年7月1日(土)

- Reclothes Cup公式サイトにて一次審査結果発表を行います ※個別にもご連絡いたします
- **7月1日(土) 12時**より指定店舗にて、事前に選択済みの商品をお受け取り頂けます

作品提出締切
2023年8月31日(木)

- 完成作品をReclothes Cup事務局まで提出 **※8月31日までに発送を行ってください**

最終審査会
2023年10月29日(日)

- 作品をファッションショー形式で審査致します
- ファッションショーはデザイン部門のみ/**販売部門は審査会後の授賞式にて作品をお披露目いたします**

説明会スケジュール

コンテスト説明会

4月10日(月)

16時30~17時30

- ZOOMでの説明会を開催いたします。※録画を公式サイトにてご確認ください。
- 専用URL→<https://us02web.zoom.us/j/87513915623?pwd=aDBXMWtZNlpzUFl0c0wrdXloT0EzZz09>
- ミーティングID: 875 1391 5623 / パスコード: 035831

学校単位説明会

適時開催

- 御校の予定に合わせて随時開催いたしますのでお問合せ下さい。
- 問い合わせ先→re_clothes_cup@info.bookoff.co.jp

1次審査通過者向け説明会

7月3日(月)

- ZOOMでの説明会を開催いたします。
- ※録画を公式サイトにてご確認ください。

Reclothes Cup2023

【デザイン部門 グランプリ】

賞金

30万円

副賞

装苑に掲載

【準グランプリ】 賞金10万円 【ブックオフ賞】 賞金5万円



Reclothes Cup2023

【販売部門 販売デザイン賞】

賞金
10万円
副賞

2024年開催のNEW ENERGY TOKYOに商品を出展

【入賞】 賞金 2万円 副賞 各種展示会への出展

審査員

審査委員長

文化出版局 出版事業部長 兼 装苑編集長 児島幹規様

1992年 専修大学経済学部経済学科卒業。同年 世界文化社入社 Begin編集部配属。2004年 Begin編集長就任 2009年MEN'S EX編集長就任。
2014年10月 文化学園 文化出版局 出版事業部長 兼装苑編集長就任。香蘭ファッションデザイン専門学校の他、文化服装学院、大阪文化服装学院、名古屋ファッション専門学校、中部ファッション専門学校のファッションコンテストの審査員をまた、毎日ファッション大賞にて審査員を務める。
秋田公立美術大学客員教授。

審査員

スタイリスト 相澤樹様

2005年よりフリーのスタイリストとして活動開始。雑誌でのスタイリングをはじめアーティスト、広告、CMなどジャンルを問わず活躍中。
衣装デザイン、エディトリアルディレクション、空間プロデュースなど多方面での活動を行っている。
2021年に東京で開催されたパラリンピック閉会式では衣装ディレクターとして参加。2017年ラッキースター所属

ブックオフグループホールディングス株式会社 代表取締役社長 堀内康隆
他2名の計5名

Q&A

Q. A.	指定店舗とはどこですか？ 公式サイトより店舗一覧がDLできます。リストに記載のある店舗はご利用頂けます。店舗に電話をしてからご来店ください。
Q. A.	近くに店舗がない場合は？ Reclothes Cup事務局まで一度ご連絡ください
Q. A.	選んだ商品はどうなりますか？ 一次審査結果発表まで、店舗で保管いたします
Q. A.	商品は無償提供ですか？ 一次審査を通過された方には1,500円未満のブックオフの対象商品は無償でご提供いたします
Q. A.	選んだ商品の交換はできますか？ 完成作品提出までは何度でも交換可能です ※手を加えた商品の交換はできません
Q. A.	作品の発送方法は？ 必ず1作品ごとに箱に入れて宅配でお送りください ※業者指定なし
Q. A.	作品は返却されますか？ 提出された作品は返却されません ※コーディネートのための私物は返却、作品の貸出しは可
Q. A.	チームでエントリーは可能ですか？ 可能です。代表者の方がエントリーをお願いいたします
Q. A.	洋服、靴、バッグ以外の商品は使用できますか？ 1,500円以下の着物、帯、スポーツウェアがご利用頂けます ※ブックオフの対象商品は無償提供
Q. A.	他のコンテストとのダブルエントリーは可能ですか？ 学内コンテスト以外とのダブルエントリーは不可となります



Reclothes Cup2023

最終審査会会場

福岡国際会議場
多目的ホール

〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町2-1

<https://www.marinemesse.or.jp/congress/>

Reclothes Cup事務局 問合わせ先

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-3-8 ミーナ天神 7階
BOOKOFF SUPER BAZAAR ミーナ天神『Reclothes Cup事務局』
担当者： 山田美有

アドレス：re_clothes_cup@info.bookoff.co.jp

公式サイト：<https://reclothes-cup.jp/>

YouTube：<https://youtu.be/lugcQZKqWAw>

※デザイン画、完成作品の発送先になります